



1. 活動日時：2014年12月26日（金） 10：00～14：30
2. 参加者：4名（社友GS 3名+1名（社友GS 山本さん姪孫(てっそん：お姉さんの孫)の武(たける)君)
3. 活動内容：神於山の竹を利用した「門松作り」
 - ・12月13日（土）のSGC活動で基地に運んだタケを使い、「門松作り」に挑戦しました。
 - ・今まで神於山の竹は、竹トンボ・竹馬・竹魚釣り・竹灯籠等のクラフト系や、杭・柵・フェンスなどの資材としては利用して来ましたが、「門松」は初めての試みでした。
 - ・残念ながら飾りに使った葉牡丹・松・南天・菰などは持ち込みになりましたが、思った以上の出来栄で大満足です。特に作り方が難しいわけではありませんから、今後恒例の行事になればより楽しいと思います。

■門松を立てました。 初の試みで自画自賛ですが、かなりうまく出来たと思います。



左の門松



基地の門構え

《作成手順》

- ・直径8～10cm、高さ180cmの竹を6本用意し、上部を角度30度で斜め切ります。
- ・切った竹を3本ワンセットにし、斜め切った切口が上下と横に来るように配して高さを揃えて切り、仮括りしておきます。
- ・鉢は、ドラム缶を二つに輪切りしたものに菰を巻き、ワラ縄（又はシュロ縄）で縛ったものを二つ準備。
- ・鉢の若干後ろに仮括りした3本の竹を立て、位置決めをして6割がた土を入れて竹を固定し、シュロ縄で本括りします。
- ・中央左右に葉牡丹を配置して更に8割がた追い土を入れ、竹の左右に松を、又センターに赤みの南天を挿し、土隠しに落葉を敷いて完成しました。
- ・梅や千両・万両等の色物が有れば更に賑やかになります。



右の門松

■制作風景



- ・完成した門松に、思わずガッツポーズ。
- ・買えば数万円の値が付くと思われる出来栄に、大満足です。

・参加された3+1の皆さん。お疲れ様でした。
 ・山本さんの姪孫の武君は、小学校6年生。足が長くて可愛くて、将来間違いなくイケメンになる素質を持っています。

・鉢のドラム缶への菰巻。
 ・カッコいい結び目作りに武君も一生懸命です。

